

南が丘小学校だより(第3号)

津市立南が丘小学校
令和3年5月12日

あらためて新型コロナウイルス感染症について

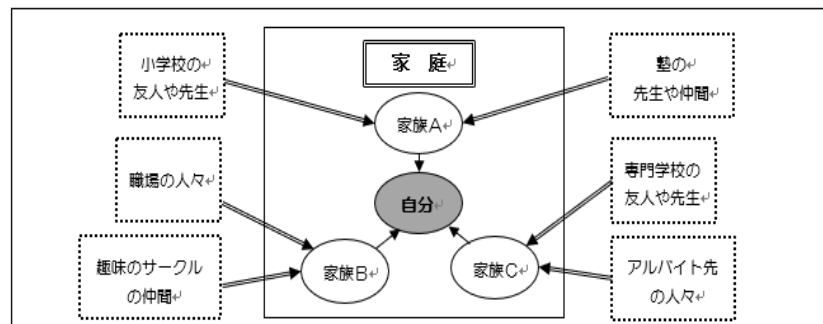


本校において、感染拡大防止のため、昨日(5/11)、6年生は臨時休業となりました。保護者の皆さま、地域の皆さまには大変ご心配をおかけしまして申し訳ありませんでした。

この間、児童の皆さん、そして保護者の皆さまは不安な気持ちで過ごされたことと思います。1日間の臨時休業で通常の教育活動に戻ることができ、大変うれしく思います。しかし、今まさにウイルスと闘っている人、自宅で待機しなければならない人もいます。また、登校できても不安や心配な気持ちを持って過ごしている人もいます。いろいろな気持ちが混ざり合っていると思いますが、こんな時だからこそ、みんなが居心地よく、安心できる学校になるよう、一人ひとりがどんなことに気をつけて行動するのかを考えることが大切です。

誰でも感染する可能性があること

右の図を見てください。自分の周りの一番身近なところに家族がいます。その家族の周りには、家族の友だちや職場の人や学校の先生など、様々な人がいます。この



ようにいろいろな人と関わりながら生活をしている私たちです。このような環境の中で、誰かが感染したり、濃厚接触者になったりすれば、すぐに自分も感染する可能性が出てきます。つまり、誰でも感染する可能性はあるということです。

誰もが感染する可能性がある中で生活していくうえで何が大切か？

児童のみなさんへの宿題です

「もし、自分が感染してしまったら」どんな気持ちになるでしょうか？

こんな声が聞こえてきそうです。

- ◇みんなから避けられたり、悪口を言われたりするのではないかと心配
- ◇みんなにうつると思われるのではないかと心配
- ◇友だちが家族や近所の人から、自分や家族に近づかないように言われているかもしれないと思う

みなさんは、どう思いますか？

もし、自分が感染したとき、どんな言葉をかけてもらおうとうれしい？また、どんな態度で接してもらえとうれしい？自分の考えを下に書いてみましょう。

保護者の皆さまへ

本校では、日頃より感染防止対策に取り組んでおりますが、このたび児童の中で感染が確認されました。今回のことを受けて、改めて学校や家庭、社会において感染のリスクをゼロにすることはできず、誰もが感染する可能性があるということを強く思いました。

これまでも自分や友だちが感染することを想定し自分自身の行動について考えたりする学習を行うとともに、本校の誰が感染したとしても、濃厚接触者になったとしても、再び安心して通える学校づくり、学級づくりを進めているところです。

保護者のみなさまにおかれましても、「誰が感染したのか」とかを詮索したり、「感染したのは〇〇さんだよ」などと人に伝えることなどは厳に慎んでいただき、感染者やその家族に対する誹謗中傷、偏見や差別をなくすための取組へのご理解とご協力をお願いいたします。

地域社会においては、残念ながら、感染者に対する誹謗中傷が行われたり、感染者が特定されるような情報が拡散されたりする等の人権侵害が発生しています。もし、保護者のみなさまの身の周りで、こうした人権侵害があったときには、同調せずに「自分や自分の子どもが感染して、同じことをされたらどう思うのか」等と声をあげていただきたいと思います。そうした行動が、発言者に気づきや自制を促し、安心できる学校や地域づくりにつながっていくと考えます。



通常の教育活動に向けて

本校では日常を取り戻し、安心して学校生活を送れるよう、保健所の指導のもと、業者による校内関係個所の消毒を行いました。これからも基本的な感染対策を徹底し、教育活動を行ってまいります。

今後も引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。



業者による消毒作業